

県庁舎のあり方等に関する検討会 第2回にぎわいづくり部会 議事要旨

- 1 日 時 令和7年4月10日（木） 15時00分～17時00分
 2 場 所 兵庫県第3号館7階 大会議室（オンライン併用なし）
 3 出席者

（1）検討会構成員 ※敬称略

氏 名	職名等	出欠
赤澤 宏樹 ※1	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授	出席
秋田 大介	株式会社イマゴト 代表取締役	出席
大井 史江	武庫川女子大学建築学部建築学科 准教授	欠席
大畠 諭	西日本旅客鉄道株式会社 地域まちづくり本部 開発戦略部長	出席
岡本 篤	株式会社ムサシ 代表取締役社長	欠席
嘉名 光市	大阪公立大学大学院工学研究科 都市系専攻 教授	出席
小泉 寛明	有限会社 Lusie 代表取締役	出席
施 蓮華	鯉川山手街づくり会 会長	代理出席 (施 文雄)
高田 知紀	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授	出席
津島 秀郎	神戸市都市局都心再整備本部 局長（事業推進担当）	出席
永田 耕一	元町東地域協議会 会長	代理出席 (沢口 涼祐)
奈良山 貴士	みなと元町タウン協議会 副会長	出席
蓮池 國男	神戸元町商店街連合会 副会長	欠席
松原 亜希子	株式会社大丸松阪屋百貨店 大丸神戸店長	出席
溝口 克臣	山の手ふれあいのまちづくり協議会 委員長	出席
横山 直己	神戸諏訪山ふれあいのまちづくり協議会 委員長	出席
豊川 聡 ※2	兵庫県写真作家協会会長、兵庫県洋舞家協会会長、 神戸新聞社事業局長	出席

※1：部会長 ※2：ゲストスピーカー

（2）県当局

木村理事、有田総務部長、波多野職員局長兼県庁舎整備プロジェクト室参事、松井県庁舎整備プロジェクト室長、津志新庁舎企画課長、前野管財課長、森本儀典室長、岡田芸術文化課長、澤田都市政策課長、林都市計画課長

4 発言内容

※ 開会あいさつ、メンバー紹介、資料説明等については省略するとともに、発言内容は一部要約しています。

（1）主な意見

- ・兵庫県、特に神戸は様々な芸術団体が交流する、京都や大阪にはない独特のサロン文化がある。例えば神戸芸術文化会議という団体は文学や美術、音楽、建築・造園園芸など計28分野560人が集い、活発な情報交換が行われている。

- ・兵庫県は芸術・文化団体が発表する場が少ないと言われている。県民会館が閉鎖されたことで、そういう団体がいわゆる「ギャラリー難民」となっている状態。
- ・200～300 m²ぐらいの部屋をパーテーションで区切れるようにし、芸術・文化団体が柔軟に利用できるプランが提示できれば使い勝手が増すのではないかな。
- ・山側のエリアは相楽園や県公館等歴史的建築物を中心とした芸術文化の色合いを出して、ゆったりと落ち着いて過ごせるような空間イメージにしてはどうか。
- ・ホールについては阪神エリアの音楽ホールはすでに整っており、新たに優れた音響設備を備えたホールは必要ないと感じている。県民会館の後継機能としては、多目的に使えるようなものでよいと思う。
- ・南海トラフ地震が発生した際、行政関係の支援は被害の深刻な地域へ向けられ兵庫県へは来ないことも想定される。そのため、自前で何とかできる方法を考えた機能を入れたほうがいいのではないかな。
- ・公館利用については、土日祝の利用だけでなく日常使い・平日使いもできるように開いていかないといけない。
- ・公館の施設利用について、例えば大阪の中央公会堂は交流スペースとして平日使用ができ、土日は大きなイベントも開催できるような使い方をしている。そのような使い方がイメージとしては近く自由度が高いかもしれない。
- ・この地域の歴史的な施設を有効に使って人の流れやにぎわいを創出できるよう、回遊性を考えてほしい。
- ・まちづくりの活動と並行しながらでないと回遊性の向上を実現できないこともあるため、基本構想の中でそのような余地を残していければいいのではないかな。
- ・計画段階から必要なキャパを持った駐車場や駐輪場の整備を考えてほしい。
- ・県の役割ではないが、神戸市も積極的に北野から西へ向かってのまちづくりを行い、結節点として県庁舎があればよいのではないかな。県庁の見晴らしのよいフロアを民間に開放し、そこで収益を得られるようにすればよいのではないかな。
- ・文化芸術を本当に振興していこうと思ったら、2 号館跡地のにぎわいを創出するエリアにギャラリースペースを設けて市民に開放し、文化的な香りを感じられる機能があったほうがいいのではないかな。ただし、運営手法は考えていく必要がある。
- ・大規模建替は数十年に一度の機会であるため、にぎわいや日常性を創出できるような道のあり方を真剣に考えた方がよいのではないかな。県民会館の跡地と2 号館の間にある道については、廃道にせずともウォークアブルな形にしていけば、2 号館跡地のにぎわいの活性化にも繋がるのではないかな。
- ・にぎわい創出の方向性をもう少し明確化すべき。
- ・民間提案を求める場合、ある程度自由度を高めるのか、具体的に提案を求めるのか決める必要がある。
- ・県民会館が閉館になって、日中の人の動きがなくなったというのがよくわかった。そういう場所があるのとなないのとでは全然違う。
- ・庁舎のエリアは子供連れも多いため、車が通らない大きな公園のようなスペースを確保してもよいのではないかな。
- ・公館西の道路を県警側に付け替え、公館を中心とした大きな緑地的なシンボル空間を作ると今の雰囲気良さが活かされるのではないかな。また、1 号館・2 号館間の道路を廃し、高低差を活用した大階段を東西道路をまたぐ形で作れば、ウォークアブル

ルに南北が広い空間でつながり、日常利用だけでなく災害時の対応もでき、まちの価値も上がるのではないか。

- ・都心には他に大きなホールがあるため県民会館は小さなホールで良いのではないか。県民会館が無くなって県民のにぎわいが無くなるのは寂しい。有事になれば災害対応等、フレキシブルに活用できる機能であつたらいいのではないか。
- ・元町駅西口をどうにかして欲しい。
- ・生態系の話で、平常時のエコロジカルな空間が防災にも貢献するという事で、都市のグリーンインフラの観点は大事。県庁周辺の生態系やグリーンのあり方、景観のあり方も含め、基本構想の中に謳っておくべき。
- ・コロナ禍のように社会の状況によって都市空間に求められる機能は変化していくため、ある程度の機能は決めつつも、機能を特定し過ぎずに遊びのある空間や活用の仕組みを考えておくべき。
- ・兵庫県で、県庁舎からはみ出したまちづくりをしっかりと位置付けられるかというところがポイントではないか。また、環境面も含めて三宮都心地域の都市再生にどう貢献していくのかという視点も必要。
- ・県民会館については、貸し箱としての位置づけではなく、大阪の中之島のように文化芸術の拠点としてのブランディングや空間の活用方法を含め、アートマネジメントを行っていくことが重要。議場についても、使用しない期間については文化芸術の場として活用するといいのではないか。ただし、その際のエリアマネジメント手法についてはしっかりと考えていく必要があり、民間へのサウンディングの際にも求められる視点となる。
- ・具体的な回遊プランを描き、県庁舎整備と一体的に行うべき。神戸の都心全体の回遊性向上に資するようにするためには神戸市の応援も必要。
- ・エリアマネジメントは運営が難しく、ポリシーチャンピオンという運用開始後もポリシーを発信し続ける運営主体の明確化が非常に重要。民間事業者へ提案してもらうにあたり、基本構想にはポリシーやコンセプトを示すべき。
- ・神戸三宮再整備と県庁舎周辺再整備の相乗効果を発揮しながら都心全体として回遊性を向上していきたいというのは、非常に良い観点。その中で、にぎわいの方向性や目指す姿を基本構想の中でどう記載するかが、民間へサウンディングする上でも一番重要。
- ・道路については、単に廃道や付け替え変え目的ではなく、にぎわいを創出するために沿道や周辺の土地と一体で上手く活用していくという観点で検討いただくと、道路管理者や交通管理者の理解も得やすい。
- ・県民会館について、高齢化に備えてコンパクトで県民が集えるスペースがあればよいと思う。駐車場などのスペースについては検討してほしい。
- ・役所が計画を作るとどうしてもワクワク感がなくなってしまう。常識に捉われず、民間からの柔軟な提案を受ける準備はしておくべき。
- ・県庁前駅と元町駅が向かい合うような形にし、一つの駅として中心基軸になるとよいのではないか。
- ・県庁舎のあり方等の「等」の部分が非常に大事で、県庁が単独で存在するのではなく、県庁とまちの姿を示していく必要がある。業務スペースはクローズな空間だとしても、交流スペースなどについては開かれた場所として、まちと融合していく必

要があるという内容を基本構想で謳っていくべき。

- ・ 県庁及び周辺も含めた規模の建替計画自体は好機と捉えている。そうそうある機会でない事から、①現状の課題解決のみならず、②今後のリスクや将来変化に対して出来得る限り予測のうえ組み立てるべき。さらに、③にぎわいづくりに向けては一つのまちのブランディングとして捉え、積極的に進める必要を感じている。①～③についてそれぞれを具体的に示す中で、重要性、緊急性、実現可能性などの指標において、取組みの優先順位やスケジュールを可視化する必要がある。
- ・ 県公館や今後開発される県庁舎やその周辺などが、ポートタワーのようにまちのシンボルとして愛され活用されてもらいたい、その運営主体などは今後の課題。
- ・ いずれにせよ、北側の県庁周辺と南側のウォーターフロント、居留地や南京町・元町商店街の間にある JR 元町駅の開発抜きには進みにくい。